

# QUICK SHIP

## vol. 13

### 巻頭言 若きリーダーの台頭

今期より、主に30歳代を中心にした執行役員人事が構成されました。先輩諸氏を差し置いての就任は、当初はごちなく、周囲からの反発も多々ありましたが、徐々に各役職の実力も発揮され、周囲の理解と協力も得られるようになってきました。半年前の株主総会時に、会長は今回の人事の意味合いについて、活性化を促すために若手を起用し、マンネリの打破、危機感、そして何よりも次世代を見据えて、会長、専務からの脱却を目指すことが、この会社の反映をもたらすとの説明を頂きました。



執行役員 稲村 重成

近年この国は、バブル崩壊から脱却できず、改革の声をよそに、先行き不安を払拭できないのが現実であります。同様に当社も40年の歴史の中で、しがらみや不必要な義理、ぬるま湯の中で頭が固くなってしまった一部の社員、この意識改革や打破なくして、この会社の将来はないのです。この半年は連日改革の実行に明け暮れました。確かに一部の脱落者は出ましたが、大方の社員はお互いに励ましあい助け合い危機感の共有に理解を示し、付いてきてくれました。これもひとえに大家族主義であったからであります。

また、昨今製造業の海外移転の傾向は顕著であり、当社もこの渦中にあります。しかし、その海外でも異変が起こり始めております。数年前までは中国工場がけん引役になり当社の業績を維持してまいりましたが、近年の物価や人件費高騰、その上、ローカル企業の台頭や実態に合わない安売り攻勢に直面し、外資系の企業の劣勢は否めません。しかし、いつかは当社の良さを理解していただける時期が来ると信じ、現状維持に尽力し続けます。今は、中国プラス1の位置づけとしてベトナムやインドネシア、さらにインドに新たな拠点を設ける計画を実施しております。

今、当社で一番必要な人は海外でマネジメントが出来る人材であります。幸いにもグローバルに活躍できる若い人材が育ってきていることは、進出に拍車がかかり大いに期待が持てます。さあ、若いうちに海外を経験しましょう。そして大きな権限を与えられ、やる気満々な会社にしていきましょう。

2012年 4月 稲村 重成

会長コメント:

老兵は死なず、ただ消え去るのみ

と試してみたいのですが、「後ろ髪」の心境。若者には未来と夢があります。それに賭けたい。

## TOPICS

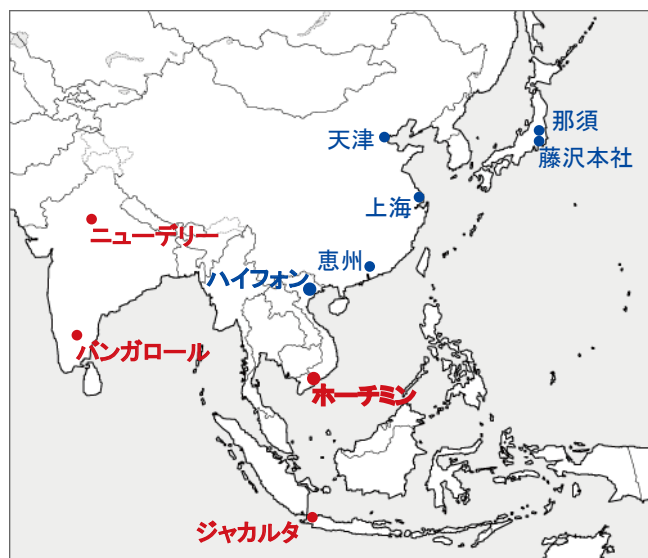
ニッセイグループの海外進出動向、新着情報をPICK UP！

- インドネシア工場 4月建築開始
- ベトナムホーチミン工場 4月建築開始
- インド ニューデリー、バンガロール  
3月調査開始

4月5日、インドネシア工場の起工式が行われました。インドネシアには工場建設前に、大地の神様へ工場建設無事終了を祈願して、ヤギや牛の頭を生贄として地面に埋める風習があり、今回はヤギの頭を埋めました。ジャカルタ新聞に、弊社起工式の様子が記事として掲載されます。



(左から) 執行役員稲村重成、浅野社長、営業部村田、工場長クレスナ



青字：現在の生産拠点  
赤字：今後の進出拠点



社長挨拶



(右上～右下)ヤギの頭を埋める様子  
(左下)ジャカルタ新聞掲載



## ■ 大手遊技機メーカー向けで 透明チューブ採用

2012年秋～量産開始

## ■ EV用耐熱オレンジコルゲート生産増 現在135°CEV用耐熱オレンジコルゲート開発中

## ■ 昨年末より再び「環境対応型エコチューブ」としてECO-01注目集まる

## ■ HPリニューアル 5月末完成予定

## ■ ネット販売「CAPCO」今年に入っても売上好調持続 2012年5月 新製品2アイテム掲載予定

## 社内TOPICS

### 稲村整体院、開設！



会長自ら社員に整体を施す



稲村道雄会長が会長室に隣接する会議室を改良し、整体院を開設されました。社員の健康を第一に考えて、万全の体調で仕事をして欲しいとの願いから、整体学校に通われ、技術を習得されました。連日、腰痛、肩こりに悩む社員はもとより、その他にも様々な理由で体調がすぐれない社員も通っています。会長曰く、治療方法は患部を治療していく「対処療法」ではなく、痛みが発生している根本的な原因を直す「根幹療法」を行っているとのこと。また、整体は、腰痛や肩こりだけでなく、自律神経などに対しても施術するので心身ともに治療できるとのことです。社員一同、会長のこの気持ちに答えるためにも、体調管理には十分に気をつけて、より一層業務に従事しなければいけません。

### ボランティア IN 福島



まだまだ復興に人手が足りません



平成24年2月4日、当社会長を筆頭に、本社、那須勇士12名で、福島県南相馬市でボランティア活動に参加いたしました。活動内容としては、仮設住宅の方々に食料品等の物資の配給のお手伝いをすることでした。被災された方々と、直接触れあい、会話をさせていただき、当社社員は、逆に被災地の方々から、「勇気・元気」をもらい、活動を通じて、仲間の大切さ、“絆”を実感し、とても貴重な経験を致しました。

今回、このような機会を与えて頂いた事、参加出来た事に、本当に感謝致します。ありがとうございました。

### 送別会



皆で労をねぎらい、送り出します



5年半勤務した営業アシスタント袁(えん)さんの送別会が行われました。中国から来た当初は言葉の壁もあり、いろんな苦勞もしたようですが、受注、購買、ネット販売、ニッセイ中国とのやり取りなどの業務はもちろん、委員会、朝の掃除、ボランティアにも非常に積極的でした。顧客及び中国スタッフからの信頼も厚く、ニッセイエコには欠かせない存在になっていました。今回、ご主人の勤務先の近くに引越す為の新たな門出の意味もあり、会の名前は「出陣式」としました。当日は女性スタッフの子供たちも含め、58名が参加し、名残りを惜しましました。